

JDSF(普及)事務連絡  
2020年 8月29日

各加盟団体代表者各位  
(ブロック運営委員長 CC)

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟  
普及本部長 中道 俊之  
技術認定部長 古川 靖人

## **動画判定技術認定会手引きについて**

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、技術認定部の活動に多大なご協力とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、先般、従来の(集合型)技術認定会に加えて、受験者が動画を提出することで技術認定を受ける方式を可能とする通知を致しましたが、今般その為の受験者向け手引きを作成しました。初版ということで、今後改善しながら、皆様のより活用し易い内容にしていく予定ですが、まずは試していただくようご案内いたします。

### **【添付資料】**

- ・動画判定技術認定会\_準備から提出までの手引き (初版)

問合せ先 技術認定部 メールアドレス ; [nintei@jdsf.or.jp](mailto:nintei@jdsf.or.jp)

本マニュアルの目的

本マニュアルは、動画審査技術認定会受験者の方のために、動画撮影の準備から提出までのノウハウをまとめたものです。  
 動画審査を実施する主催者において、適宜加筆・修正してご利用ください。

動画判定認定会の流れ

- 準備（会場選定、服装、音響など）
- 撮影方法
- 動画の提出
- 結果の通知とフィードバック

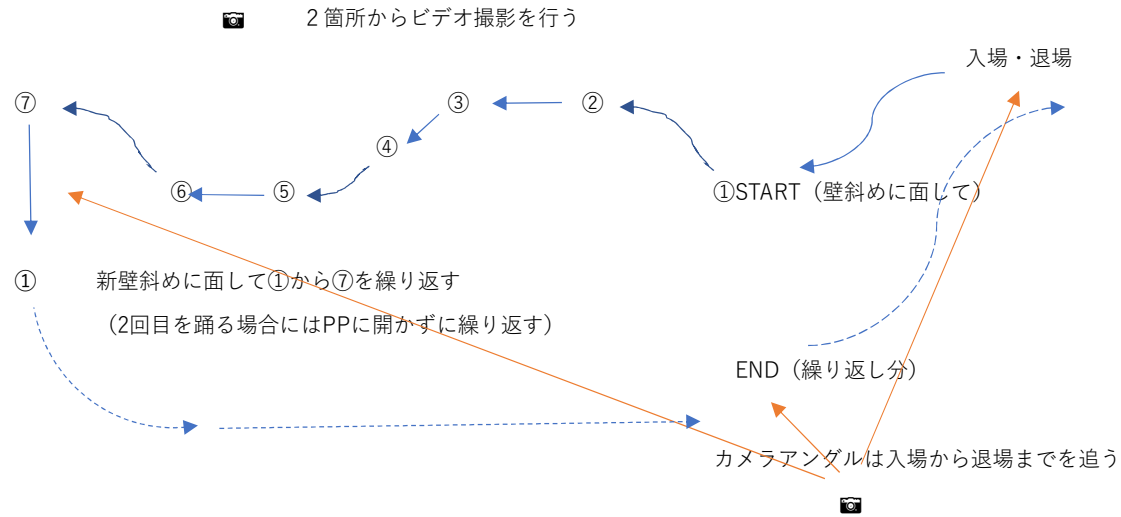
準備		
会場選定における 必要条件	認定用の音楽をかけられる事	例：JDSFオリジナルCD
	アマルガメーションを続けてすべて踊れるスペース	スペースの関係で方向を変えて踊っても良い 参考：技術認定試験実施要領第7条2項 「…なお、会場の都合で踊り続けることが困難な場合には、複数回踊るものとし、…」
	受験者の全身を撮影できる（引きの映像を録画できる）スペース	
会場例	ダンス教室・スタジオ	貸切が望ましい
	公共施設等（ホール、体育館他）	貸切が望ましい
	ダンス練習場（民間、自己所有）	貸切が望ましい
	貸会議室（民間）	貸切が望ましい
	自宅	
服装	練習着・ダンスシューズ	認定会に準じる（練習着程度）
音響機器	音源とスピーカー（会場の設備使用、又は持込）	プレイヤー、スマホ（タブレット含む）+スピーカー等
認定申し込み	申込書の提出と受験料（申請料含む）の振込	シラバスに従い動画提出前に済ませておく（主催者側の指示による）
撮影方法		
撮影機器	スマートフォン（タブレット含む）・ビデオカメラ	電源供給の方法を事前に確認しておく

撮影方法	撮影時間	フロアへの入場から退場まで
	受験者	はじめに背番号を見せること(受験者か相手役かの区別をするように工夫する：主催者の指示による)
	録画本数（提出数・1ファイル/種目/人）	アマルガメーションを連続2回以上踊る。（パソドブレを除く） 会場の条件により連続して踊れない場合は必要に応じて移動し、2回目を踊る。その間は撮影を継続する
	撮影者	本人（据え置きによる自撮り） 受験者同士 協力者
撮影上の注意	撮影上の注意 (守られない場合判定できないことがあります： ”判定できない場合は再提をお願いすることがあります”)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全身が映るように撮影する</li> <li>・途中で身体の一部がフレームアウトすることがないように注意する</li> <li>・1つの動画に1人または1ペア映るように撮影する</li> <li>・1アマルガメーションを2方向から撮影すること</li> <li>・提出は1アマルガメーションに対して2ファイル（2方向）とする</li> </ul>
	ファイルは種目別、グレード別、受験者別とする	ファイル名の付け方例参照

	ファイル名の付け方 (審査前後のファイルの整理のため)	例：「20200701_G1W_(No.△△)_○○○○」 提出日_グレード及び種目 (シャドウの場合はグレードの後にSを付ける 例：G1SW)_ (背番号)_氏名
感染対策	施設等の基準 (最優先) 及びJDSF標準に準拠すること	最新情報に注意、「技術認定会等開催ガイドラインについて」を参考のこと
動画の提出		
動画送信方法	LINEによる送信	主催者が指定する方法による (主催者は異なる2種類以上の方法を指定し、受験者に選択させることが望ましい)
	アップロード (ギガファイル便・YouTube等)	
	USBメモリ等の電子媒体の送付	
結果の通知とフィードバック		
認定方法	2名以上の認定員の合議による	録画機器による画質、音質の差は審査対象外
結果の通知 (主催者から 受験者へ)	メール・LINE・郵送	主催者が指定する方法による
	フィードバックコメント	可否に関わらず認定員によるコメントを通知する
	技術認定カード	合格者には後日送付する
	通知などのタイミング	予め主催者から目安を示しておくことが望ましい
その他注意事項		
	※動画の制作・提出に関する一切の費用は、受験者自身の負担を原則とする	

- 参考資料：
- ・技術認定試験の審査方法の一部変更について (2020年4月20日発信)
  - ・技術認定会等開催ガイドラインについて (2020年7月13日発信)

## ビデオ撮影例



参考例：グレード1 Waltz

1. ナチュラル・スピン・ターン (回転量の多い) 123456
2. ターニング・ロック・トゥ・ライト 1&23  
(ナチュラル・ターニング・ロック)
3. ウイング (・フロム・PP) 123
4. オープン・テレマーク 123  
(テレマーク・トゥ・PP)
5. シャッセ・フロム・PP 12&3
6. ナチュラル・スピン・ターン (回転量少なく) 123456
7. ターニング・ロック・トゥ・ライト 1&23  
(ナチュラル・ターニング・ロック)

新LODに沿って動き、クローズド・ポジションで終わる

繰り返すステップ1はCBMPにOPポジションで右足前進 (男子) となる